

僕と幼馴染のひよりは
念願の同じ大学へ
入ったものの…

お前の
彼女か？

いや…
幼馴染です…

へ…

また使い走りに
されても僕には
ひやりがある

そこには高校の頃
何かと使い走りに
されてた怖い先輩もいた

先輩？
なんか怖いね…

そう思うと
僕は頑張れた

ある日先輩に
コンドームを
買ってくるよう頼まれた

僕は深く考えず
急いで買って先輩の
家へ上がった
そこには
見慣れた靴があり
嫌な予感がした

あー
もう生で
いいか

え…？
ひより…？

ひよりちゃん
生でちゃんぽ
入れちゃうよ

ダメだ…
そんな…

嫌なら
大きい声
出してねー

ヌイ…
おっ…ほ…

ひよりちゃん
生すっげ…
これが今日まで
処女だったのかよ

あいつ俺に
はやく紹介しとけよ
こんな子ちゃんぽ
ハメねー方がかわいそだろ

あ、慣れてきた？
俺のちゃんぽ
結構いいっしょ

…はい♡
ふわふわ♡
します…♡

あー
ゴムおせえな
絶対外に出すから
今日このままいい？

何回したのだろうか
乱雑するコンドームに
隙間から漂う淫臭に
僕は割り入る勇氣は出ず
逃げるように家を後にした

生ちゃんぽ
ゴムより
キクっしょ？



ひよりは気弱で
性的な事なんて
何も知らない…

先輩そろそろ
遅れちやいま…
びく
おっ
びく

そんなひよりが
先輩に抱かれてる姿で
抜くなんて惨めだ…!

お腹こうして…
ちんぽゴシゴシすつと
な?やべーだろ



あれ…?
また遅刻だね…
大丈夫…?

ひよりを見る目が
どんどん歪んで
いくのを感じた

えっ?あー…
うん!お寝坊
しちゃった…へへ

それでも僕は
あの日のひよりを
おかずにする事はなかった



へー
あいつが
ひよりを
エロい目でね

…
なんか最近
視線が怖く感じ
ちゃって…
気まずくて…
はやく仲直り
したいなって…

へー
ちんぽ入れられ
そうなたら言えよ
ボコすから
そういや
明日からの連休
泊まってくつしよ

ぱん
はい…
お邪魔させて
頂きますっ…

おっ
後で
ゴムと飲食の
買い出し行こか

たん
たん



じゃあさ
あいつ試してみる？
俺がひよりちゃん
告った事にしてさ…

あっ

そこであいつが
引き留めて
男見せたら
付き合っちゃえば



ひよりちゃんさ
あいつの事
好きなの？

えっ…
あ…あの…

いいよ
ここだけだし
言っちゃえば

…多分…？
わかんないです…

ふーん



それでもしも
ひよりちゃんが
あいつないな…って
なったら俺と
付き合っちゃお
ね？名案っしょ

そっ…
それは…
うう…ん…

まっ
俺はひよりちゃんが
あいつと付き合っても
手放す気ないけど
ひよりちゃんの
おまんこもやっとな
俺の形覚えてきたしね

やっ
先輩…
ひどいです…
さいてーです…
…分かりました
先輩の言う通り
しますっ…

おっけー

もにゅ
もにゅ













